

令和6年5月期 横浜市感染症発生動向調査委員会報告

《今月のトピックス》

- 新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症の報告が続いています。
- 梅毒は20歳代～50歳代を中心に、幅広い年齢層で患者が多く発生しており、注意が必要です。妊婦の報告もみられます。
- 侵襲性肺炎球菌感染症が多く報告されています。

◇ 全数把握の対象 <2024年4月22日～5月19日に報告された全数把握疾患>

腸管出血性大腸菌感染症	3件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
E型肝炎	3件	侵襲性肺炎球菌感染症	16件
アメーバ赤痢	1件	水痘(入院例に限る)	2件
急性脳炎	1件	梅毒	32件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3件	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1件
後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	4件	百日咳	1件

1. **腸管出血性大腸菌感染症**:30歳代～50歳代で、O血清群はO157が1件、O91が1件、O26が1件です。いずれも感染経路等は不明です。
2. **E型肝炎**:40歳代～70歳代で、経口感染と推定される報告が2件、感染経路等不明の報告が1件です。
3. **アメーバ赤痢**:50歳代で、感染経路等不明です。
4. **急性脳炎**:20歳代で、病原体は不明です。感染経路等も不明です。
5. **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:80歳代～90歳代で、血清群はG群が2件、血清群不明が1件です。創傷感染と推定される報告が2件、感染経路等不明の報告が1件です。
6. **後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)**:20歳代～50歳代で、感染経路は性的接触(同性間3件、詳細不明1件)と推定されています。
7. **侵襲性インフルエンザ菌感染症**:90歳代で、飛沫・飛沫核感染と推定されています。
8. **侵襲性肺炎球菌感染症**:10歳未満～80歳代(ワクチン接種歴4回5件、1回2件、無4件、不明5件)で、飛沫・飛沫核感染と推定される報告が1件、接触感染と推定される報告が1件、その他の感染経路と推定される報告が1件、感染経路等不明が13件です。
9. **水痘(入院例に限る)**:20歳代～80歳代(ワクチン接種歴不明2件)で、接触感染と推定される報告が1件、感染経路等不明が1件です。
10. **梅毒**:10歳代～60歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期13件、早期顕症梅毒Ⅱ期12件、無症状病原体保有者7件です。性的接触による感染と推定される報告が30件(異性間25件、同性間3件、詳細不明2件)、感染経路等不明の報告が2件です。
11. **バンコマイシン耐性腸球菌感染症**:70歳代で、感染経路等は不明です。
12. **百日咳**:10歳代(ワクチン接種歴4回有)で、感染経路等不明です。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。

横浜市衛生研究所ウェブページ

URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryō-fukushi/kenko-iryō/eiken/>

◇ 定点把握の対象

報告週対応表	
2024年第17週	4月22日～4月28日
第18週	4月29日～5月5日
第19週	5月6日～5月12日
第20週	5月13日～5月19日

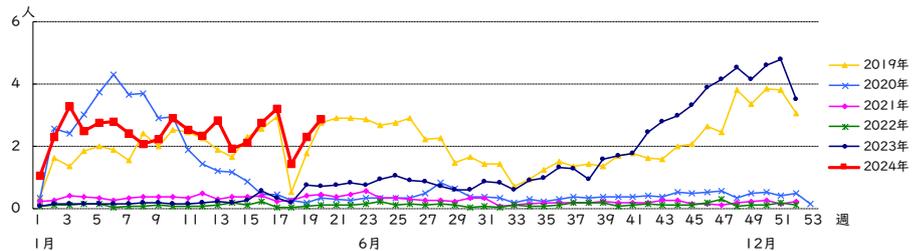
1 新型コロナウイルス感染症

2024年第5週(12.45)をピークに減少し、その後横ばいの状態で推移しています。第20週は2.91です。



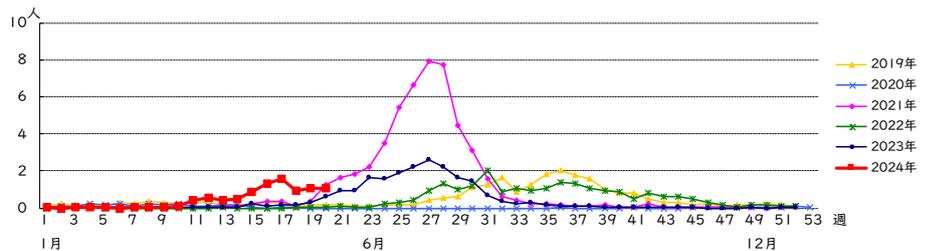
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2024年第20週は2.84で、年始からほぼ一定の水準で推移しています。



3 RSウイルス感染症

例年より早い時期に報告数が増加し、2024年第17週に1.59まで増加しました。第20週は1.07です。



4 性感染症(2024年4月)

性器クラミジア感染症	男性:33件	女性:20件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:12件	女性:9件
尖圭コンジローマ	男性:11件	女性:4件	淋菌感染症	男性:8件	女性:2件

5 基幹定点週報

	第17週	第18週	第19週	第20週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.25	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00

6 基幹定点月報(2024年4月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	11件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-